

年頭の ごあいさつ

幌延町議会議長

野々村

仁



平成二十三年の新春を迎え、幌延町議会を代表して謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

常日頃より町民の皆様には、町議会に対して温かいご理解とご支援を賜り、心より御礼を申し上げます。

本町にあつては、町民の皆様にはご不便をおかけしておりました、生涯学習センターが本年供用開始となり、学童保育・調理実習室や図書室等々が整備され、国際交流施設と一体となった相乗利用ができ、二つの施設を活用し地域住民の皆様の憩いの場・交流活動の拠点として利用いただける施設となっております。

更に本年度、町内全域を光ファイバーで結び、地上デジタル放送の難視エリア対策、双方向告知通信システムによる防災無線との連携で、災害時の緊急無線や緊急放送・行政情報

の伝達等が可能になり、情報通信の格差是正が図られ、より「安全で安心なまちづくり」が形成されます。また、医療の中核をなす町立診療所・院外薬局も本年供用開始となっております。

国内をみますと、民主党へと政権交代が行われ一年が過ぎ先行き不安な日本経済の中、米国に端を発する世界的な金融危機の影響を受け、いまだ経済の停滞を余儀なくされております。また、昨年日本で開催されたAPECにおいて環太平洋戦略的経済連携協定(TPP)に関し政府は、参加協議を表明致しました。自由貿易による関税撤廃は、本道の酪農ばかりか食品加工や流通・観光等の多くの産業と結びつき地域社会の崩壊さえ懸念されており、益々先行き不透明感が強く、地域経済は不安度を増しております。

地方公共団体は、地域住民のニーズを迅速かつ的確に反映する行政体制の整備・確立を図るとともに、これまで以上に自らの責任において地域の個性を活かした政策を立案・実施し、住民にとって、住みよいまちづくり、地域づくりの推進が求められている中、町の意味決定機関である議会の果たすべき役割は益々大きくなります。

昨年は、宮本町長が再選され三期目がスタートした訳ですが、町議会も一体となり町行政の監視をすると共に応援をしまいであります。

また、昨年議員定数を十名から九名に削減

する提案を行い全会一致で可決されました。本年度は、現議員十名の任期最後の年でもあり、平成十九年の統一選挙において皆様の尊い洗礼を受け当選して以来、今日まで町政発展のため清新の気迫を込めて鋭意活動してまいりましたが、改めて初心に戻り最後の年を皆様の信託に応えられるよう努力する所存であります。

日本の現状と先行きに町民・行政・議員が一丸となり少しでも住みよい町にするため、アイデアを出し合い努力してまいりますので町民皆様の一層のご支援とご協力を心からお願ひ申し上げます。

新しい年を迎えるにあたり、議決機関たる町議会といたしましては、幌延町民の皆様のご更なるお力添えとご助言をいただき、複雑多様化する町政と住民ニーズに慎重に対応し、住みよい町「ほろのべ」を目指して汗を流してまいりますので、どうか今年も町民の皆様との相変わらぬご支援とご協力を心からお願ひ申し上げます。

終わりに、皆様のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます、新年のご挨拶といたします。

平成二十三年元旦